

第1回芽室町生涯学習計画策定委員会 議 事 錄

と き 令和4年8月1日（月）
18時30分～20時30分
ところ 芽室町役場2階会議室7・8

○会議次第

- 1 開 会
- 2 委嘱状の交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 会長・副会長の選出
- 5 諮問書の交付
- 6 社会教育推進中期計画について
 - (1) 社会教育推進中期計画の考え方について
 - (2) 策定スケジュールについて
 - (3) 社会教育推進中期計画（平成 31 年度から令和 4 年度）の評価、振返りについて
 - (4) その他
- 7 閉 会

○出席委員

・山川 修 ・尾崎 俊明 ・佐々木 真里子 ・福井 邦秋
・島影 由里香 ・岩野 真志 ・坂本 真智代 ・鈴木 修
・佐藤 英樹 ・手島 節子

○欠席委員

・吉野 文智 ・嶋野 奈津美 ・高道 豊

○傍聴人 0 名

○事務局

教育長	程野 仁
生涯学習課長	日下 勝祐
図書館長	藤澤 英樹
社会教育係長	村島志津佳
スポーツ振興係長	梅森 祐之
社会教育係	佐藤 光

午後 6 時 30 分開会

1 開 会

【日下課長】

これより第 1 回芽室町生涯学習計画策定委員会を開催します。

2 委嘱状の交付

【日下課長】

新型コロナ感染防止対策として、机上での交付とさせていただきます。

3 開会あいさつ

【日下課長】

開会にあたり程野教育長よりご挨拶申し上げます。

【程野教育長】

資料に沿って挨拶。

計画が実りあるものになるためにも、委員の皆さんのが活発な意見、助言をお願いいたします。

4 会長・副会長の選出

【日下課長】

策定委員会の設置条例にあるとおり、会長 1 名、副会長 2 名を選出したいと思いますが、事務局から指名させていただいてもいいでしょうか。

事務局としては、会長は社会教育委員長を務めておられる岩野委員に、副会長は社会教育副会長を務めておられる島影委員と学校教育関係者を代表して山川委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

→事務局案について承認される。

5 諮問書の交付

【日下課長】

程野教育長より諮問書の交付を行います。

→程野教育長から岩野会長へ諮問書が手渡される。

【日下課長】

それでは、会長よりご挨拶をお願いします。

【岩野会長】

会議の内容は異なりますが、メンバーは社会教育委員と同じメンバーで顔なじみの方ですので、忌憚のない意見交換ができればと思っていますのでよろしくお願いします。

6 社会教育推進中期計画について

【日下課長】

それではこれ以降の進行は岩野会長にお願いします。

(1) 社会教育推進中期計画の考え方について

【岩野会長】

事務局より説明をお願いします。

【村島係長】

3頁をご覧ください。今回皆さんに策定していただくのは、教育振興基本計画に基づく個別計画です。スポーツ・図書館を含めた社会教育分野に特化した個別計画となります。

(2) 策定スケジュールについて

【岩野会長】

続いて、策定スケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

【村島係長】

8頁をご覧ください。現在、町の総合計画及び教育振興基本計画も策定中ですので、そうした上位計画の進捗に合わせて策定していくことになります。そのため、上位計画の進捗状況によっては時期が前後することもあると思われます。

(3) 社会教育推進中期計画（平成31年度から令和4年度）の評価、振り返りについて

【岩野会長】

続いて、平成31年度から令和4年度の評価、振り返りについて、現時点での現状と課題も含め、事務局より説明をお願いします。

→第5期総合計画後期実施計画の素案を用いて、村島係長、梅森係長から社会教育、スポーツ振興についての現状と課題を説明。日下課長が社会教育全体に関して補足説明。

10頁からの社会教育推進中期計画の評価について、村島係長、梅森係長から説明。

【岩野会長】

以上の説明から、質問、意見、確認など、何かあれば発言をお願いします。

【坂本委員】

L I N E等の活用もあり、C Sが少しずつ浸透していると感じる。こんなことでも支援できるんだ、と地域の人が理解し始めている気がする。C S通信のコーディネーターの一言も親しみが持てる内容で良い。

ジモト大学についても、もっと知りたい。

柏樹学園は、学園生の対象年齢になっても就労している人が多い。1人でも参加できますよ、という情報発信をしてはどうか。

【岩野会長】

C S通信はどんな人に届いているのか。

【村島係長】

教育委員、社会教育委員、小中学校とそれぞれの学校運営協議会委員へ送付。また、町のホームページ、Facebook、L I N Eで周知している。

【岩野会長】

柏樹学園でもデジタル教育、デジタル発信が必要では。

【佐藤委員】

勤務先の施設で、スマホを使える高齢者と全く使えない高齢者がはっきりと分かれている。

現役世代について、自分で何か勉強するというのは、きっかけが必要。地域でこういうことを教えてくれる、こういう人がいるという情報があればいいと思う。

【福井委員】

柏樹のニーズが変わっているのでは？

【日下課長】

素案では減少の要因に交通機関がないということで3年間検証したが、その理由ではなかつたかもしれない。

事業を計画するときに、現役世代に何を提案したらよいか、自分時間の作り方について、次回意見をいただきたい。

【坂本委員】

教えてもらう、聴くだけの学びはつまらない。高齢者は今まで十分学んできている。学びを発揮できる場所、役に立つことができる場所があればよいのでは。

また、柏樹の方がZOOMの使い方を学べれば、会場に行かなくても講演を聞くことができる。対面でなくても会話する手段になる。

【島影委員】

自分が柏樹学園に参加するとなれば、この年になって、また知らない人の輪に入していくのは勇気がいる。交通手段が問題ではなく、新たな人間関係づくりを思うとハードルが高い。それを超える魅力があれば、交通手段はどうにでもなる。

今の柏樹の人たちは、学園生の数を増やしたいと考えているのか。

【日下課長】

気の合う仲間と活動できれば良いという人、新たな学園生を増やしたいという人、両方の意見がある。

平均年齢は79歳で、60歳代はほとんどいない。入園のきっかけづくりについての意見を次回いただきたい。

【島影委員】

学園生の本音を知りたい。学園生が関わっていかないと、私たちが考えていよいものなのかな。人数を増やすことを考えていないなら、私たちが人数を増やす方法を考えても、「思い」に差が出る。

【鈴木委員】

メムオロ太鼓の会員数が減少している。太鼓体験をすると町民に活動を知ってもらえる。太鼓体験ができればよいが、コロナのこともあり、活動が制限されてしまっている。

【坂本委員】

太鼓を叩いてみたら楽しい。太鼓披露ではなく、太鼓体験を行い、太鼓に触れるきっかけづくりとしては。

【日下課長】

伝統文化の継承と新しい文化の提案を引き続き行う。

【佐々木委員】

自分たちの好きなことを地域として団体活動を行っているところが多い。高齢化により協会を脱退というふうに、団体がどんどん抜けている。

【手島委員】

高齢化もあるが、サークルの魅力がなくなっていることもあるのでは。芽室文芸の発刊も長年文化協会が担っていたが、手に負えない現状から、文芸誌の発刊作業を手放している。

【佐々木委員】

文化協会を無くすのは簡単だが、そうなれば復活できなくなる。無くしてはいけない。

【福井委員】

ゲートボールに関しては、ルールが難しい。もっと簡単に変更してみては。

【岩野委員】

3対3で行ったりしているが、発祥の地ということから全面的には実施していない。

【尾崎委員】

自分の時代から子どもの数が半減している。部活の加入率も下がっている。団体の部活をやりたいが人数がそろわない、集まらないから部活が成立しないという問題が起こっている。

個人競技は割と人数が確保できている。団体協議を避ける傾向があるのかもしれない。野球、アイスホッケーなどは極端に減っている。

【坂本委員】

少年団は地域の集まりだが、遠征続きや、親がずっと付きっきりになるなど、いろいろと熱くなりすぎて、何のためのスポーツかわからなくなっている。

勝利至上主義？スポーツを通して子どもを育てるところから離れているのは。

【尾崎委員】

スポーツに対して二極化してきているのでは。

【山川委員】

昔と比べて専門性が上がっているため、勝利至上主義を求められるのでは。

【日下課長】

今後議論の焦点になると思われます。

【尾崎委員】

コロナ禍ということもあり、前年踏襲ではなく、時代の変化もあるため、もう一度見つめなおすいい時期では。デジタルについて、特にそう感じる。

(4) その他

7. 閉会

【岩野会長】

それでは以上をもちまして第1回生涯学習計画策定委員会を終了します。お疲れ様でした。

午後8時30分閉会